

月イチHappyのトップランナーは、
ニュージーランド人のジーナ・ウィットルさん！

実は10年来の友達でもあり、
今回のオファーには友情出演に近い形で快諾をいただきました。
せっかくなので、彼女の目に映るニッポン、
国際的な結婚観などを掘り下げようと思ったのですが、
結局一番盛り上がったトークは…？

「私、働きバチだよ！土日もずっと働いているよ。だって、社会人になった最初の国が日本だもん」

20歳で来日し、モデルや英会話教師を経て24歳で留学旅行会社を設立したジーナさんは、現在5名のスタッフをかかえる株式会社Gina & Partnersの代表取締役。華やかな経歴からは順風満帆の人生のように思われがちだが、言葉の壁や契約上の信用問題など、外国人女性が異国で社会的地位を築くまでの苦勞は一言では語り尽くせない。

そんなジーナさんの心の支えは、イギリス人の彼・リチャードさんだ。一緒に暮らして間もなく3年になると言う。

「リチャードとは8年前に福岡のワークショップで知り合ったの。友達の間が5年くらいあったから、付き合うことになるとは思ってもみなかった！日本でビジネスをしている点では彼の方が先輩で、仕事のこと、プライベートのこと、何でも相談していたらいつの間にか一番近い人になっていたよ」

とは言え、お互い海外に出向くことが多いので、日本で一緒に暮らすのは一年のうち半分くらい。

「会う時はいつも新鮮で、私にとっては一番楽なライフスタイルかも。今リチャードはアフリカにいるけど、遠距離なんて全然感じない。世界は本当に小さくなっているよ。どこにいても飛行機に乗れば、次の日には海外だからね！」

あー、これが国際感覚か。ジーナさん曰く、このままいけば彼と結婚…という流れが自然と感じつつも、何歳までにというプランは未定とのこと。実は20代の頃、一度だけ結婚を考えた日本人男性がいた。

「彼は保守的なところがあって、女性が仕事をしたいと思うことが理解できなかったみたい。だから彼とは、ビジネスのこと何にも話せなかったの。私も若かったから、その部分は違って大丈夫かなと思っていただけ絶対ダメね。あの時結婚していても、多分うまくいかなかったと思う」

ジーナさんにとって結婚と仕事は天秤にかけるものではないのかもしれない。結婚もベビーも、そのうちね！と話す彼女に「では、最近一番Happyだったことは？」と聞いてみた。

「それがね！私、英語のプレゼンテーションの先生を始めたの！TEDって知ってる？世界中のユニークなプレゼンを集めたテレビ番組。ビジネスで英語のプレゼンをする必要があるのに、社会人は学ぶ機会がないって聞いたから、だったら一度セミナーを開きましようっていう話になったの。数人かと思ったら10人も集まって、私も日本のビジネスのことが理解できて、すごく楽しかった！」

ジーナさんの青い目が一段と輝いて、身振り手振りが一層大きくなった。

「ひとつ疑問だけど、日本の男性は、なぜ握手が弱い？」

これには思わず苦笑い。そ…それは、ジーナさんに緊張してかと思われそうですが…。「海外でのビジネスは90%が初対面で決まるよ。でもプレゼンの練習をするとみんな自信がついて、いい顔になるの！それがすごくうれしい」

うーん、やっぱり誰かに喜んでもらうことが大好きなジーナさん。

「今のスタッフ体制になるまでの2～3年が一番きつかったけど、今は、まっすぐな道がはっきり見えるよ！」と断言する顔は、好奇心旺盛な小鹿みたいにSo cute！もうしばらく、働きバチからは脱出できそうにないかも!?

Profile

株式会社Gina & Partners／代表取締役 ジーナ・ウィットル
ニュージーランド出身。18歳の時、日本に一年間留学し20歳で来日を決意。24歳で留学旅行会社を設立し、ファームステイ、留学・有給インターンシップなど従来の団体旅行とは一線を画した「体験型プログラム」が大人気！福岡大学で「国際ビジネス」の非常勤講師の経験を持ち、セミナーにも多数出演。

日本の男性は、なぜ握手が弱い？

